

# 第三章

## 逗子市の健康に関する状況

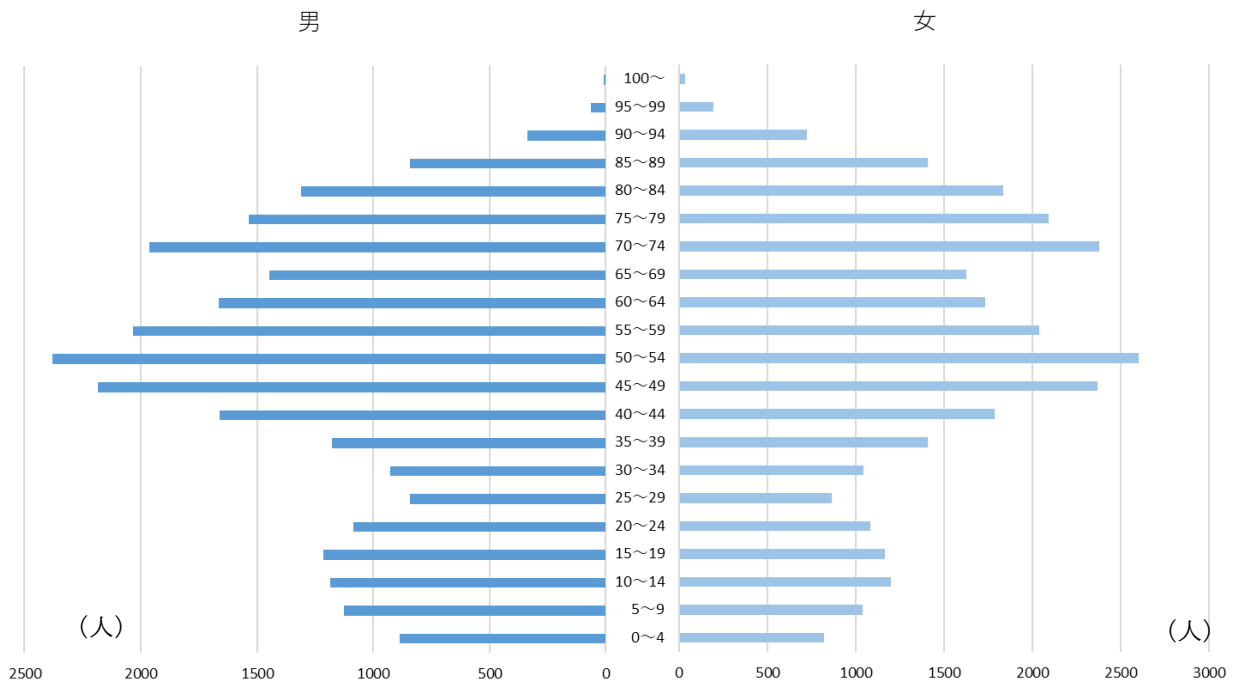
# 1 人口動態について

## (1) 逗子市の人口

2022年（令和4年）1月1日現在

総数	男性	女性
56,869 人	26,654 人	30,215 人

図1 人口の年齢別構成



【資料】神奈川県年齢別人口統計調査（令和4年1月1日現在）

## (2) 逗子市の人口構造の推移

生産年齢人口が減少傾向の一方、老年人口は増加傾向にあり、高齢化が進んでいます。

表1 年齢3区分の人口構造の推移

（単位：人）

区分	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	令和2年度
年少人口（0～14歳）	6,814	6,910	7,147	6,756	6,466
割合（％）	11.9	11.9	12.3	11.8	11.3
生産年齢人口（15～64歳）	37,752	36,162	34,903	32,483	32,046
割合（％）	65.9	62.3	59.9	56.7	56.2
老年人口（65歳以上）	12,626	14,680	16,249	18,005	18,548
割合（％）	22.0	25.3	27.9	31.5	32.5
総人口 ※年齢不詳を含む	57,281	58,033	58,302	57,425	57,060

【資料】国勢調査

図1 年齢3区分の人口構造の推移

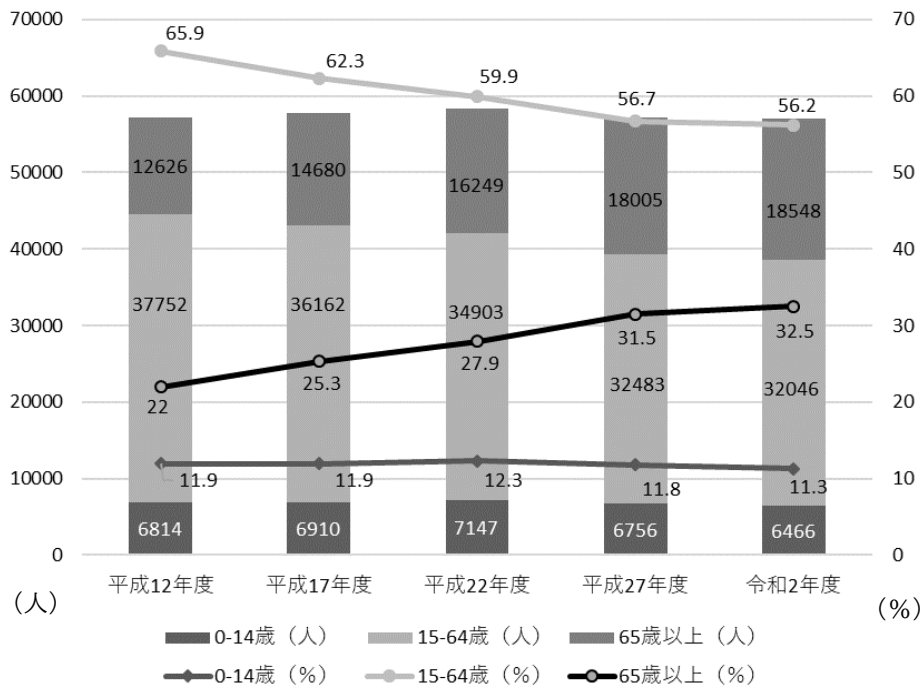


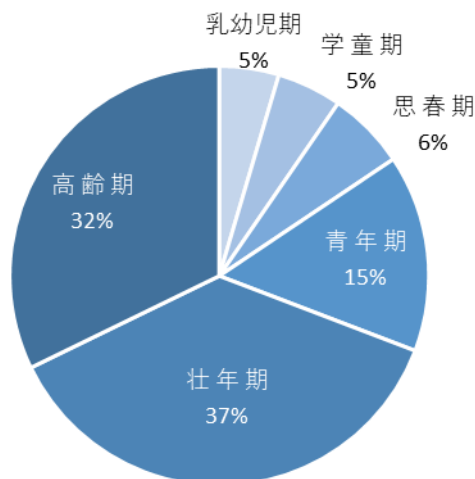
表2 年齢6区分の人口構造の推移

(単位：人)

アンケートでの年齢区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
乳幼児期	0～6歳	2,922	2,898	2,849	2,561	2,540
学童期	7～12歳	2,811	2,811	2,822	2,820	2,751
思春期	13～19歳	3,580	3,486	3,471	3,376	3,342
青年期	20～39歳	9,334	9,042	8,936	8,453	8,429
壮年期	40～64歳	20,383	20,453	20,602	20,355	20,444
高齢期	65歳以上	18,150	18,146	18,108	17,929	17,781

【資料】神奈川県年齢別人口統計調査

図2 年齢6区分の人口構造の割合（令和4年度）



### (3) 逗子市の人口と世帯の推移

一般世帯数は増加傾向である一方、平均世帯人数は減少傾向にあり、特に高齢者の単独世帯が増加しています。

表1 総人口と世帯数の推移

(単位：人、世帯)

	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	令和2年度
総人口	57,281	58,033	58,302	57,425	57,060
男性	27,428	27,652	27,514	26,936	26,719
女性	29,853	30,381	30,788	30,489	30,341
一般世帯数	21,936	22,930	23,830	24,083	24,837
平均世帯人数	2.61	2.53	2.45	2.38	2.27

【資料】国勢調査

図1 一般世帯数と平均世帯人数の推移

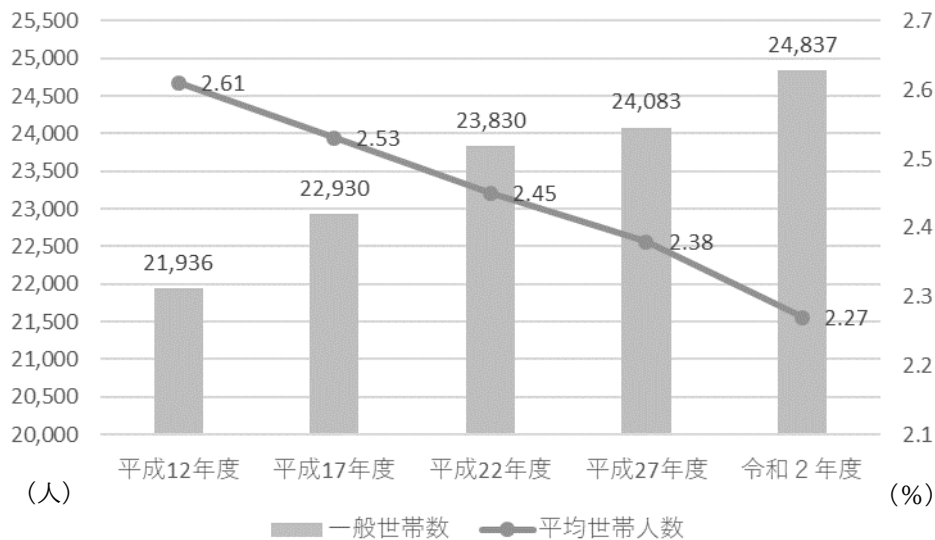


表2 世帯構成の推移

(単位：世帯)

	平成12年度		平成17年度		平成22年度		平成27年度		令和2年度	
	世帯数 (世帯)	構成比 (%)	世帯数 (世帯)	構成比 (%)	世帯数 (世帯)	構成比 (%)	世帯数 (世帯)	構成比 (%)	世帯数 (世帯)	構成比 (%)
一般世帯総数	21,936		22,930		23,830		24,083		24,837	
核家族世帯	15,133	69.0	15,698	68.5	16,252	68.2	16,249	67.5	15,892	64.0
夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみ世帯	2,779	12.7	3,259	14.2	3,557	14.9	3,834	15.9	3,883	15.6
単独世帯	4,743	21.6	5,326	23.2	5,908	24.8	6,508	27.0	7,510	30.2
65歳以上の単独世帯	2,092	9.5	2,644	11.5	2,985	12.5	3,621	15.0	3,693	14.9

【資料】国勢調査

#### (4) 出生の推移

神奈川県では、出生率は減少傾向です。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行が、結婚や妊娠・出産に少なからず影響を及ぼした可能性があります。

表1 出生数、出生率（人口千対）、合計特殊出生率の比較推移

区 分		平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	令和2年度
逗子市	出生数	443	383	408	381	302
	出生率（人口千対）	7.7	6.6	7.0	6.6	5.3
	合計特殊出生率	1.12	1.01	1.18	1.32	1.23
神奈川県	出生数	82,906	76,196	78,077	73,475	60,865
	出生率（人口千対）	9.8	8.7	8.6	8.1	6.6
	合計特殊出生率	1.25	1.13	1.25	1.33	1.20

【資料】神奈川県衛生統計年報

#### (5) 死亡の推移

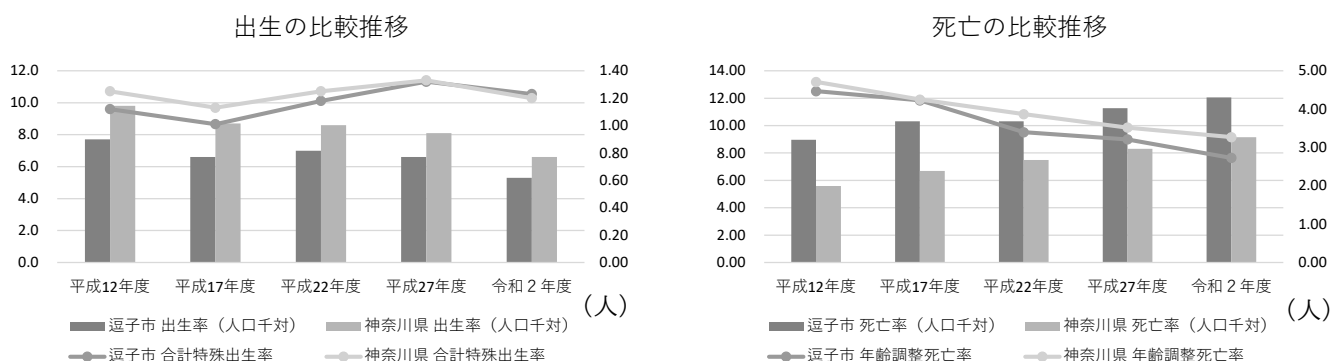
高齢化が進むことに伴って、死亡数は増加しています。

表1 死亡数、死亡率（人口千対）、年齢調整死亡率の比較推移

区 分		平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	令和2年度
逗子市	死亡数	514	599	601	647	688
	死亡率（人口千対）	8.97	10.32	10.31	11.27	12.06
	年齢調整死亡率	4.47	4.23	3.40	3.21	2.73
神奈川県	死亡数	50,539	58,801	67,760	75,762	84,601
	死亡率（人口千対）	5.59	6.69	7.49	8.30	9.16
	年齢調整死亡率	4.71	4.25	3.87	3.52	3.27

【資料】神奈川県衛生統計年報

図1 出生と死亡の比較推移



## 2 医療費について

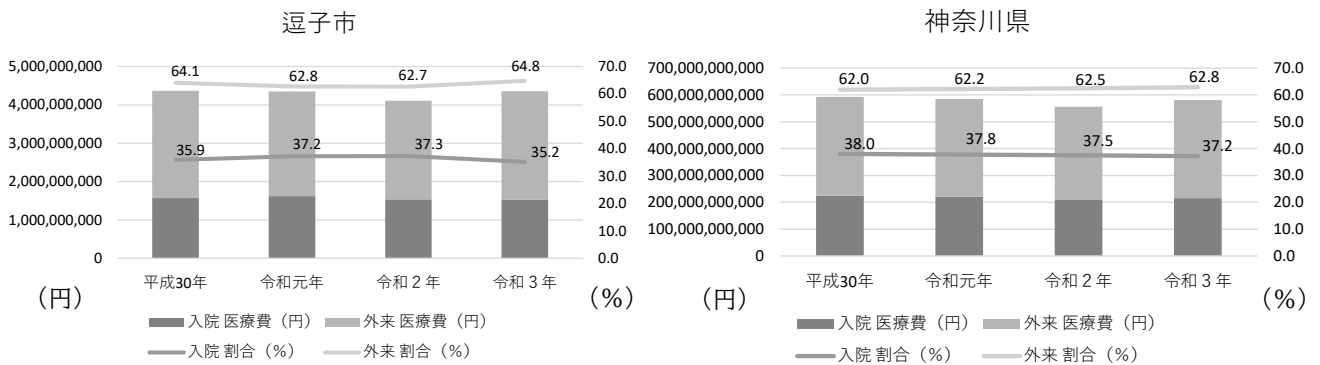
### (1) 逗子市の医療費

国保データベース(KDB)システムのデータより、国民健康保険被保険者の4カ年分の医療費を記載しました。逗子市は神奈川県全体と同様、総医療費の約4割が入院費、約6割が外来費となっています。

表1 医療費における入院・外来の割合

		入院		外来		計
		医療費(円)	割合(%)	医療費(円)	割合(%)	医療費(円)
逗子市	平成30年度	1,567,676,490	35.9	2,799,992,880	64.1	4,367,669,370
	令和元年度	1,619,329,270	37.2	2,730,293,480	62.8	4,349,622,750
	令和2年度	1,534,105,120	37.3	2,576,135,120	62.7	4,110,240,240
	令和3年度	1,533,582,600	35.2	2,824,198,470	64.8	4,357,781,070
神奈川県	平成30年度	225,354,577,430	38.0	367,384,351,730	62.0	592,738,929,160
	令和元年度	221,161,624,810	37.8	363,781,503,570	62.2	584,943,128,380
	令和2年度	208,776,683,860	37.5	347,424,495,460	62.5	556,201,179,320
	令和3年度	215,811,025,370	37.2	365,060,404,320	62.8	580,871,429,690

図1 医療費における入院・外来の割合比較



(2) 1人当たり医療費比較

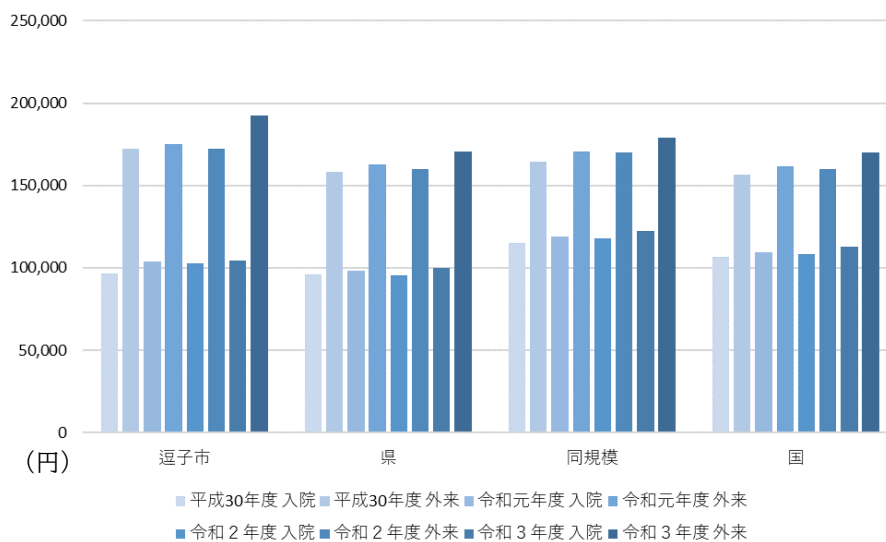
1人当たり医療費について、逗子市は神奈川県や全国の平均と比べて、外来にかかる医療費が突出して多くなっています。

表1 1人当たり医療費比較（入院・外来）

（単位：円）

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来
逗子市	96,478	172,160	103,751	175,230	102,581	172,188	104,475	192,330
県	96,101	158,024	98,048	162,533	95,267	160,115	100,016	170,795
同規模	115,295	164,685	119,013	170,534	117,944	169,881	122,504	179,309
国	106,774	156,664	109,708	161,630	108,299	160,072	112,803	169,937

図1 1人当たり医療費比較（入院・外来）



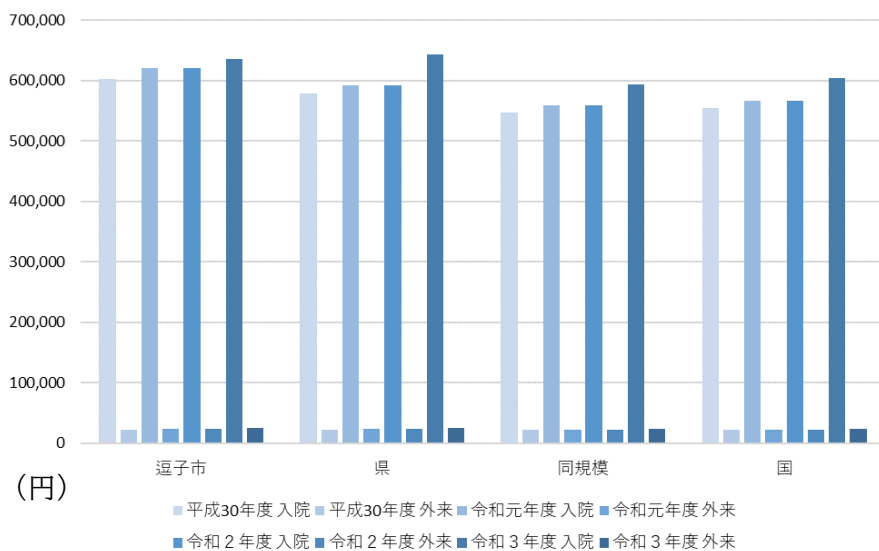
### (3) 1件当たり医療費比較

医療機関から提出された診療報酬明細書（レセプト）1件当たりの医療費について、入院にかかる医療費は、外来にかかる医療費の約25倍です。逗子市は神奈川県や全国の平均と比べて、外来にかかる医療費が多くなっています。

表1 1件当たり医療費比較（入院・外来） （単位：円）

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来
逗子市	602,720	22,910	621,150	23,710	621,150	23,710	635,550	25,910
県	578,420	22,600	592,570	23,370	592,570	23,370	643,170	24,870
同規模	547,230	22,450	559,530	23,150	559,530	23,150	593,020	24,390
国	554,130	22,200	567,030	22,890	567,030	22,890	604,140	24,200

図1 1件当たり医療費比較（入院・外来）





### 3 疾病構造について

#### (1) 逗子市の医療費割合の上位疾病

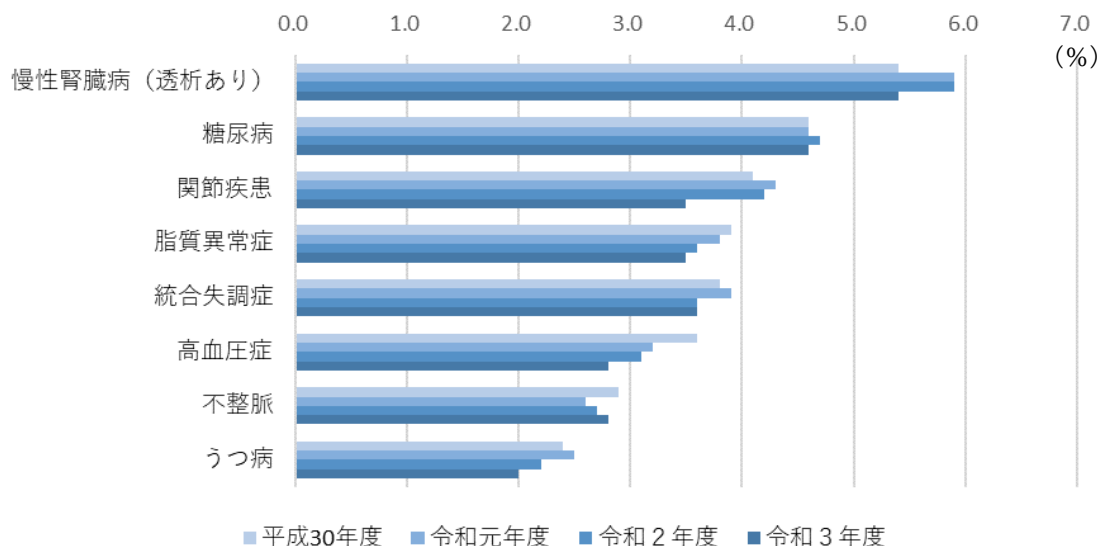
国保データベース(KDB)システムのデータより、医療費が多くかかっている疾病を記載しました。第1位は「慢性腎臓病（透析あり）」。第2位は「糖尿病」であり、この2疾病で総医療費の約1割を占めています。

表1 医療費割合の上位疾病の推移

(単位：%)

順位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	疾病	(%)	疾病	(%)	疾病	(%)	疾病	(%)
1	慢性腎臓病 (透析あり)	5.4	慢性腎臓病 (透析あり)	5.9	慢性腎臓病 (透析あり)	5.9	慢性腎臓病 (透析あり)	5.4
2	糖尿病	4.6	糖尿病	4.6	糖尿病	4.7	糖尿病	4.6
3	関節疾患	4.1	関節疾患	4.3	関節疾患	4.2	統合失調症	3.6
4	脂質異常症	3.9	統合失調症	3.9	脂質異常症	3.6	関節疾患	3.5
5	統合失調症	3.8	脂質異常症	3.8	統合失調症	3.6	脂質異常症	3.5
6	高血圧症	3.6	高血圧症	3.2	高血圧症	3.1	高血圧症	2.8
7	不整脈	2.9	不整脈	2.6	不整脈	2.7	不整脈	2.8
8	うつ病	2.4	うつ病	2.5	うつ病	2.2	うつ病	2.0

図1 医療費割合の上位疾病の推移



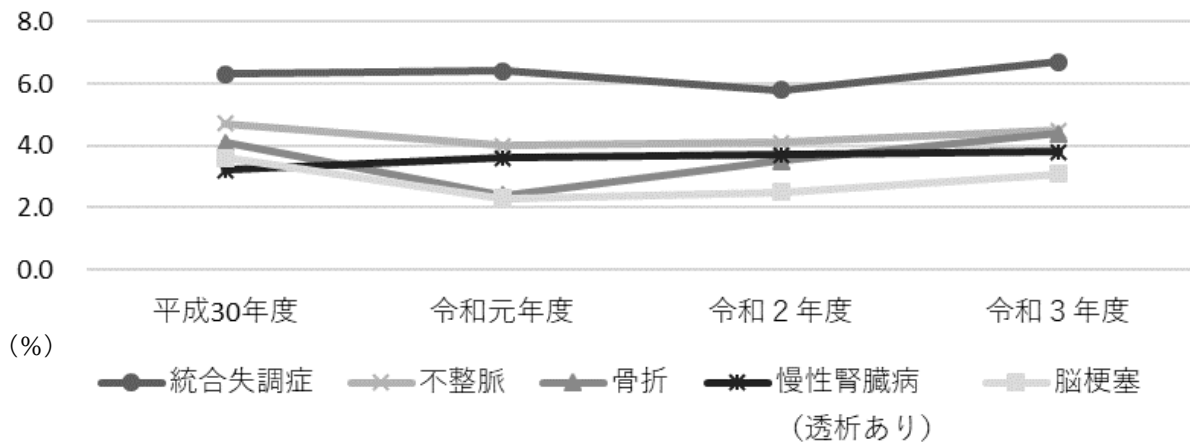
(2) 入院医療費割合の上位5疾病

入院医療費が多くかかっている疾病は、「統合失調症」、「不整脈」です。

表1 入院医療費割合の上位疾病推移

順位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	疾病	(%)	疾病	(%)	疾病	(%)	疾病	(%)
1	統合失調症	6.3	統合失調症	6.4	統合失調症	5.8	統合失調症	6.7
2	不整脈	4.7	不整脈	4.0	不整脈	4.1	不整脈	4.5
3	骨折	4.1	慢性腎臓病 (透析あり)	3.6	慢性腎臓病 (透析あり)	3.7	骨折	4.4
4	脳梗塞	3.6	骨折	2.4	骨折	3.5	慢性腎臓病 (透析あり)	3.8
5	慢性腎臓病 (透析あり)	3.2	脳梗塞	2.3	脳梗塞	2.5	脳梗塞	3.1

図1 入院医療費割合の上位疾病推移



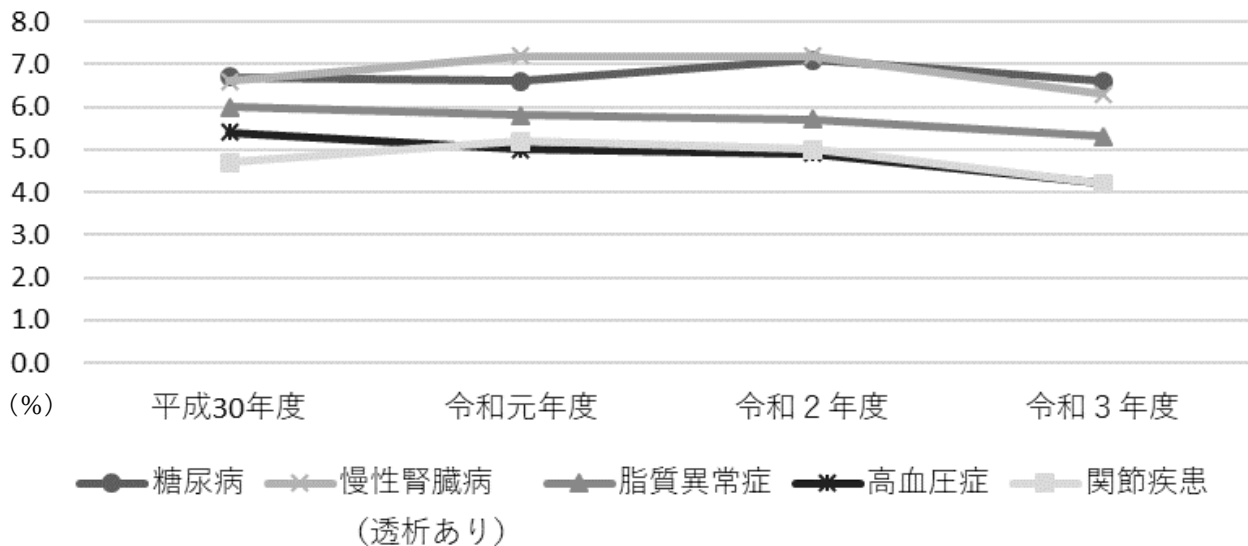
(3) 外来医療費割合の上位5疾病

外来医療費が多くかかっている疾病は、「糖尿病」、「慢性腎臓病（透析あり）」です。

表1 外来医療費割合の上位疾病推移

順位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	疾病	(%)	疾病	(%)	疾病	(%)	疾病	(%)
1	糖尿病	6.7	慢性腎臓病 (透析あり)	7.2	慢性腎臓病 (透析あり)	7.2	糖尿病	6.6
2	慢性腎臓病 (透析あり)	6.6	糖尿病	6.6	糖尿病	7.1	慢性腎臓病 (透析あり)	6.3
3	脂質異常症	6.0	脂質異常症	5.8	脂質異常症	5.7	脂質異常症	5.3
4	高血圧症	5.4	関節疾患	5.2	関節疾患	5.0	高血圧症	4.2
5	関節疾患	4.7	高血圧症	5.0	高血圧症	4.9	関節疾患	4.2

図1 外来医療費割合の上位疾病推移



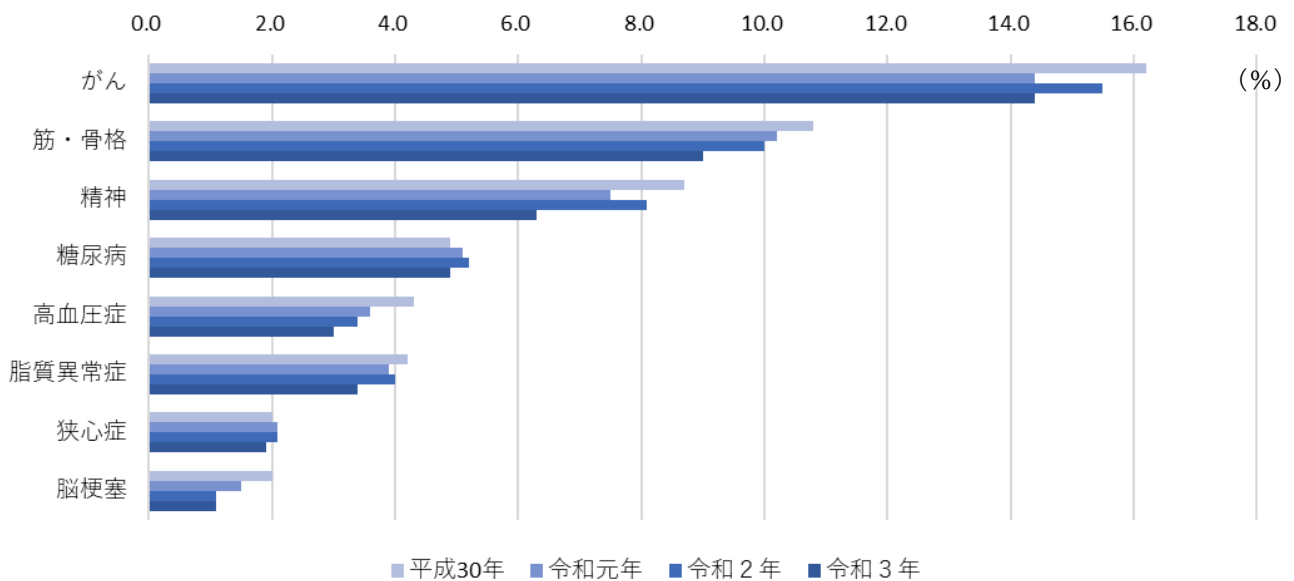
#### (4) 生活習慣病等に関する医療費割合

生活習慣病とは、食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称です。「がん」が首位であり、予防対策が求められます。

表1 生活習慣病に関する医療費割合の上位推移

順位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	疾病	(%)	疾病	(%)	疾病	(%)	疾病	(%)
1	がん	16.2	がん	14.4	がん	15.5	がん	14.4
2	筋・骨格	10.8	筋・骨格	10.2	筋・骨格	10.0	筋・骨格	9.0
3	精神	8.7	精神	7.5	精神	8.1	精神	6.3
4	糖尿病	4.9	糖尿病	5.1	糖尿病	5.2	糖尿病	4.9
5	高血圧症	4.3	脂質異常症	3.9	脂質異常症	4.0	脂質異常症	3.4
6	脂質異常症	4.2	高血圧症	3.6	高血圧症	3.4	高血圧症	3.0
7	狭心症	2.0	狭心症	2.1	狭心症	2.1	狭心症	1.9
8	脳梗塞	2.0	脳梗塞	1.5	脳梗塞	1.1	脳梗塞	1.1

図1 生活習慣病に関する医療費割合の上位推移



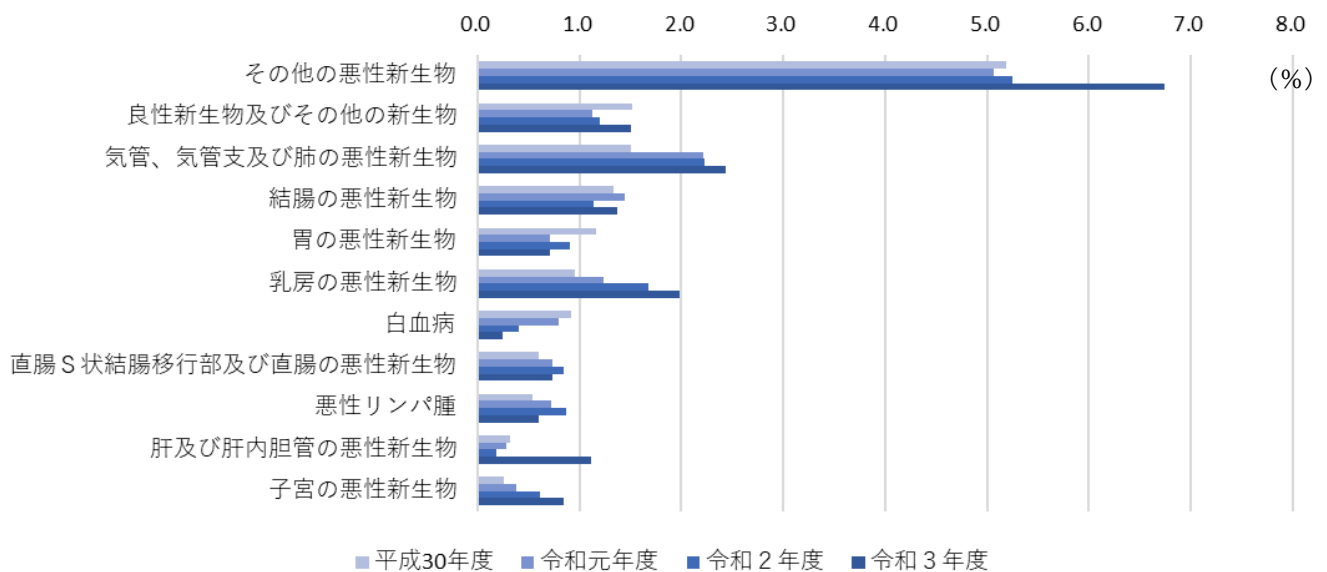
### (5) 新生物の医療費割合

新生物とは、遺伝子に傷がついた異常な細胞のことを言い、増えてかたまったり（腫瘍）、周囲の正常な細胞に無秩序に広がるものを「悪性新生物」や「悪性腫瘍」、「がん」と言います。体のあらゆる部位で生じる可能性がありますが、逗子市では「気管、気管支及び肺」、「乳房」で生じるものが多いです。

表1 新生物の医療費割合の上位推移

順位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	疾病	(%)	疾病	(%)	疾病	(%)	疾病	(%)
1	その他の悪性新生物	5.2	その他の悪性新生物	5.1	その他の悪性新生物	5.3	その他の悪性新生物	6.7
2	良性新生物及びその他の新生物	1.5	気管、気管支及び肺の悪性新生物	2.2	気管、気管支及び肺の悪性新生物	2.2	良性新生物及びその他の新生物	1.5
3	気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.5	結腸の悪性新生物	1.5	乳房の悪性新生物	1.7	気管、気管支及び肺の悪性新生物	2.4
4	結腸の悪性新生物	1.3	乳房の悪性新生物	1.2	良性新生物及びその他の新生物	1.2	乳房の悪性新生物	2.0
5	胃の悪性新生物	1.2	良性新生物及びその他の新生物	1.1	結腸の悪性新生物	1.1	結腸の悪性新生物	1.4
6	乳房の悪性新生物	1.0	白血病	0.8	胃の悪性新生物	0.9	肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.1
7	白血病	0.9	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	0.7	悪性リンパ腫	0.9	子宮の悪性新生物	0.8
8	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	0.6	悪性リンパ腫	0.7	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	0.8	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	0.7

図1 新生物の医療費割合の上位推移



(6) 国民健康保険被保険者数

神奈川県や全国と比べて「0～39歳」の割合が低く、「40～64歳」の割合が高いです。

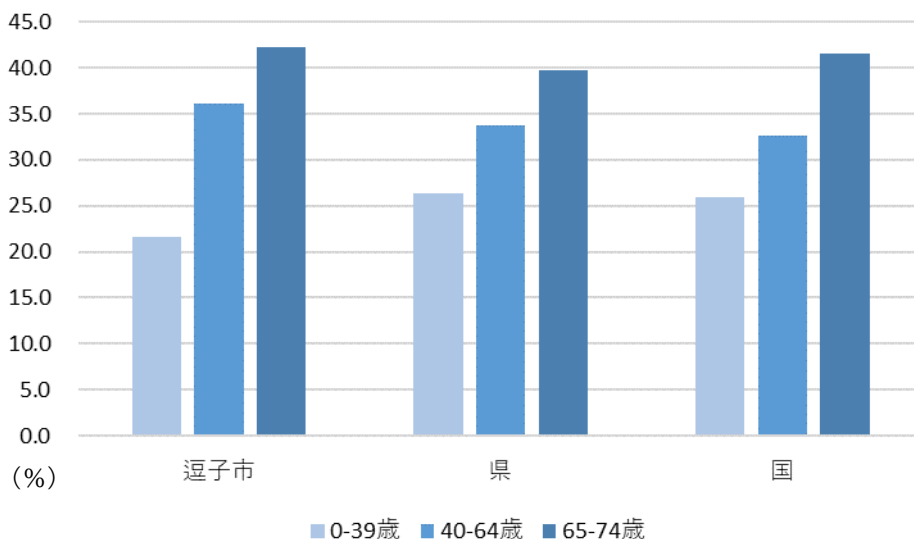
表1 国民健康保険被保険者数の比較推移 (単位：人)

	逗子市	県	国
平成29年度	14,276	2,115,840	31,587,591
平成30年度	13,548	2,026,658	30,811,133
令和元年度	13,063	1,961,149	29,893,491
令和2年度	12,935	1,936,536	29,496,636
令和3年度	12,560	1,888,816	28,705,575

表2 国民健康保険被保険者年齢構成割合 (単位：%)

逗子市	年齢	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	0-39歳	23.1	22.3	22.2	21.9	21.6
	40-64歳	33.6	34.3	34.7	35.1	36.1
	65-74歳	43.3	43.4	43.0	43.0	42.2
県	年齢	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	0-39歳	27.7	27.5	27.1	26.6	26.4
	40-64歳	33.0	33.1	33.2	33.4	33.8
	65-74歳	39.3	39.4	39.7	40.0	39.8
国	年齢	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	0-39歳	27.5	27.2	26.8	26.2	25.9
	40-64歳	33.1	32.8	32.6	32.5	32.6
	65-74歳	39.4	40.0	40.6	41.3	41.5

図1 令和3年度の国民健康保険被保険者年齢構成割合



## 4 市実施の健康診査の受診状況について

### (1) 特定健康診査

メタボリックシンドローム※予防のため、40歳から74歳の国民健康保険加入者を対象とした健康診査（以下、「健診」と略します）です。逗子市の特定健診受診率は30%前後で推移しており、県平均より高くなっていますが、国が設定した市町村国保における受診率目標60%の達成には至っていません。

※メタボリックシンドローム：内臓脂肪型肥満に加え、①脂質異常、②高血糖、③血圧高値のうち2つ以上あわせもった状態。それぞれの危険因子がまだ病気でない軽い状態であっても、重なることで命にかかわる虚血性心疾患や脳血管疾患を引き起こすリスクが高くなる。

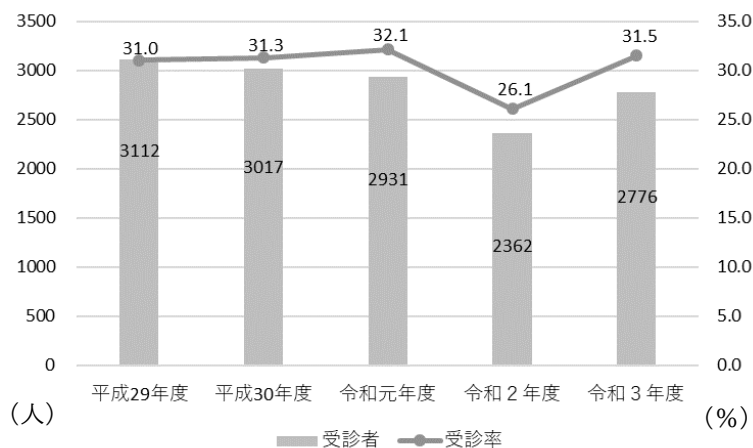
表1 逗子市特定健診の内容

・身体測定	
・血圧測定	
・問診	
・診察	
・尿検査	尿糖、尿蛋白、尿潜血、 ウリビリノーゲン
・血液検査	血液一般、脂質、痛風、 肝機能、血糖、腎機能など
※その他	心電図、眼底検査は、実施条件 に該当した場合のみ実施

表2 逗子市特定健診の受診状況比較

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
逗子市	対象者(人)	10,034	9,635	9,132	9,053	8,811
	受診者(人)	3,112	3,017	2,931	2,362	2,776
	受診率(%)	31.0	31.3	32.1	26.1	31.5
神奈川県	対象者(人)	1,414,804	1,288,106	1,236,636	1,223,888	1,191,712
	受診者(人)	398,386	365,754	356,549	314,861	336,806
	受診率(%)	28.2	28.4	28.8	25.7	28.3

図1 逗子市特定健診の受診状況



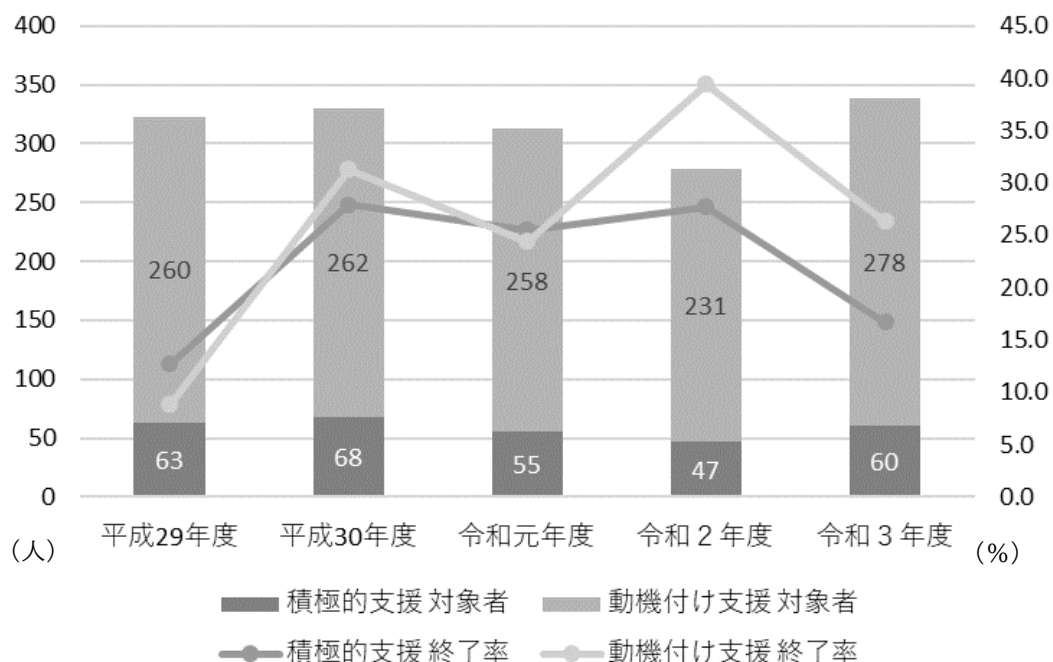
## (2) 特定保健指導

特定健診の結果、メタボリックシンドロームのリスクが高く、生活習慣の改善による予防効果が期待できる人を「積極的支援」と「動機付け支援」に区分し、専門スタッフ（保健師、管理栄養士など）が生活習慣を見直すサポートをします。（「積極的支援」は6か月間に5回以上、「動機付け支援」は6か月間に3回以上、面接や電話などによる支援を行います。）

表1 逗子市特定保健指導の実施状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
積極的支援	対象者（人）	63	68	55	47	60
	終了者（人）	8	19	14	13	10
	終了率（%）	12.7	27.9	25.5	27.7	16.7
動機付け支援	対象者（人）	260	262	258	231	278
	終了者（人）	23	82	63	91	73
	終了率（%）	8.8	31.3	24.4	39.4	26.3
総数	対象者（人）	323	330	313	278	338
	終了者（人）	31	101	77	104	83
	終了率（%）	9.6	30.6	24.6	37.4	24.6

図1 逗子市特定保健指導の対象者数と終了率の推移





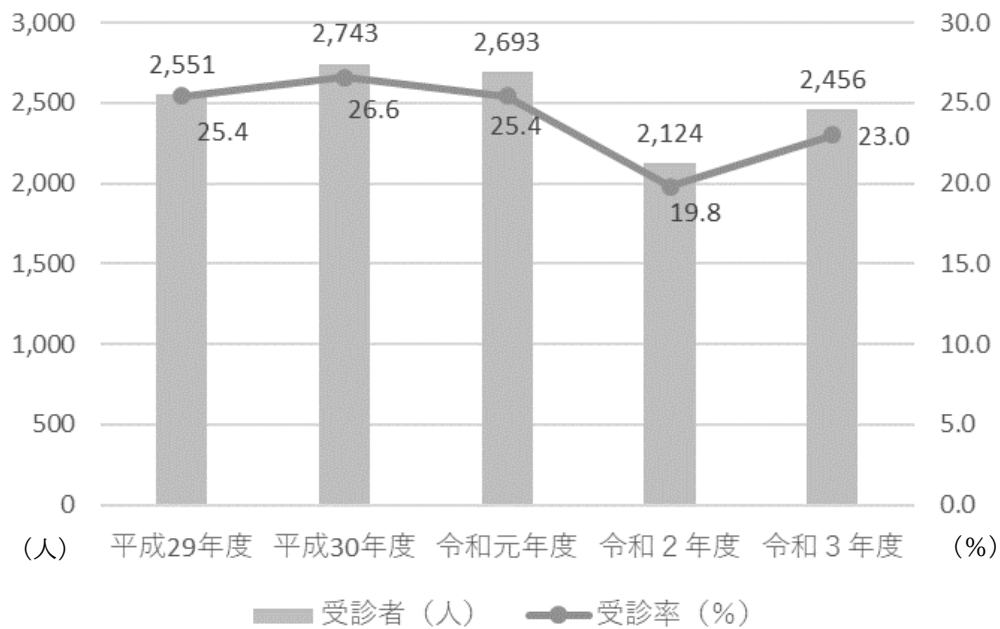
### (3) 高齢者健診

神奈川県後期高齢者医療保険に加入している75歳以上の市民を対象とした健診で、健診内容は特定健診と同じです。

表1 逗子市高齢者健診の実施状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者(人)	10,027	10,324	10,599	10,730	10,691
受診者(人)	2,551	2,743	2,693	2,124	2,456
受診率(%)	25.4	26.6	25.4	19.8	23.0

図1 逗子市高齢者健診の受診状況



#### (4) がん検診

逗子市民で一定年齢の人が対象。令和2年度以降は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、受診を控える動きが強まったとみられ、受診者が減少しました。

表1 逗子市で行っているがん検診の内容

対象検診	対象者	検診内容
胃がん	40歳以上	胃部レントゲン（バリウム）検査
肺がん	40歳以上	胸部レントゲン検査 問診により喀痰検査あり
大腸がん	40歳以上	検便（2日分）による潜血反応を検査
子宮頸がん	20歳以上の女性	子宮頸部の粘膜をとり顕微鏡で検査
乳がん	40歳以上で受診日 当日に偶数歳の女性	視触診+マンモグラフィ （乳房のレントゲン）検査
前立腺がん	40歳以上の男性	血液検査でPSA（前立腺がん特異抗原） を測定
胃がんリスク	40歳以上	血液検査で胃がんにかかる危険度を判定
肝炎ウイルス	1) 今年度40歳の方は無料 2) 41歳以上	血液検査でB型・C型肝炎ウイルスを検査
骨粗しょう症	30歳以上	超音波をかかとにあて骨密度を測定

表2 逗子市がん検診の受診状況（地域保健・健康増進事業報告の対象がん検診）

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
胃がん検診	対象者（人）	19,400	19,400	19,400	40,359	40,589
	受診者（人）	1,224	1,118	1,046	620	745
	受診率（%）	6.3	5.8	5.4	1.5	1.8
肺がん検診	対象者（人）	19,400	19,400	19,400	40,359	40,589
	受診者（人）	2,459	2,461	2,376	1,953	2,398
	受診率（%）	12.7	12.7	12.2	4.8	5.9
大腸がん検診	対象者（人）	19,400	19,400	19,400	40,359	40,589
	受診者（人）	3,526	3,480	3,354	2,684	3,229
	受診率（%）	18.2	17.9	17.3	6.7	8.0
子宮頸がん検診	対象者（人）	14,554	14,554	14,554	26,880	26,912
	受診者（人）	1,861	2,006	1,966	1,749	1,911
	受診率（%）	12.8	13.8	13.5	6.5	7.1
乳がん検診	対象者（人）	12,555	12,555	12,555	21,864	21,947
	受診者（人）	947	933	942	846	826
	受診率（%）	7.5	7.4	7.5	3.9	3.8

※令和元年度までの対象者数は、国勢調査をもとにした国算定方法（推計対象者数）に基づく。

令和2年度以降は、各検診の対象年齢の全住民（住民基本台帳人口 {当概年3月31日現在}）に基づく。